

第3回東戸塚小学校過大規模校対策検討部会 会議録

日 時	令和5年10月23日(月)18時00分～20時00分
開 催 場 所	東戸塚小学校
出 席 者 (14名)	川畑部会長、中山副部会長、坂間委員、山本委員、青山委員、加藤委員、保科委員、森田委員、小野委員、岡部委員、高杉委員、植野委員、山手委員、岩田委員
欠 席 者 (1名)	小佐野委員
事 務 局	教育委員会事務局学校計画課 大塚担当課長、杉谷担当係長、福田、井川、水口
関 係 課	教育委員会事務局教育施設課 赤羽担当課長、田島計画推進係長、永山整備係長 教育委員会事務局南部学校教育事務所指導主事室 河原指導主事 戸塚区区政推進課 織地まちづくり調整担当係長 戸塚区こども家庭支援課 清家担当係長
開 催 形 態	公開(傍聴者2人)
議 事	1 東戸塚小学校の過大規模校対策の検討について
決 定 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・東戸塚小学校の過大規模校対策について、分校設置案とする方向で意見がまとまりました。 ・分校の学年分けについては、本校に1～3年生、分校に4～6年生とする方向で意見がまとまりました。 ・分校名案については、「東戸塚小学校分校」とする方向で意見がまとまりました。
議 事	<p>1 東戸塚小学校の過大規模校対策の検討について</p> <p>(委員)</p> <p>町内会の定例会で、前回の部会の内容について報告しましたが、役員で現役の子育て世代の方は少ないので距離感がありました。この件で具体的な意見を述べられた方はいませんでした。本来、役員の方が子育て中の保護者の意見を聞くことがベストだとは思いますが、残念ながら町内会の定例会では、報告だけで一方通行状態なので、良い意見は出てきませんでした。</p> <p>(部会長)</p> <p>御自身の意見はいかかですか。</p> <p>(委員)</p> <p>われわれの意見はどこまで教育委員会の方に受け入れてもらえるのでしょうか。教育委員会は、これから未来に向けて考えていきます、という姿勢を見せてくれるのでしょうか。正直、議論の場が少ないかもしれませんが、2～3年かけても、永遠に100%の回答は出てきません。どこで妥協点を見つけられるのかがこの部会の一番重要なことだと思います。部会委員が示した進め方を、そのまま受け止めてその流れに沿うのか。または、全く異なる意見を言いながら議論していくというやり方もあると思いますが、その場合は結論を出すのが遅くなると思います。東戸塚小学校の過大規模校対策については先送りにして、またプランを立て直します、ということになると見当違いになってしまいます。今回、検討部会にいただいたような御意見を持つ方が、大勢いるのかもしれませんが、そのあたりはわれわれとしても考える必要があると思います。</p>

(委員)

今回いただいた長文の御意見が、非常に深堀されていて驚いた次第です。自治会の役員会で前回の部会の報告をしましたが、予算も人員配置も一番大事な部分だから分校設置案ということで、意見はまとまりました。東戸塚小学校の敷地の中で分校設置というのは、他の学校では有り得ない状況かと思います。補助金の関係についても、県や国の関係者と十分やり取りしてほしいと思います。せっかく決めたのに、直前に却下となると厳しいと思いますので、関係者でしっかりと話し合いを進めたうえでまとめてほしいと思います。

また、役員の方から、小学校と中学校が併設された学校が隣町にあると聞きました。何らかの参考になるとと思いますので、学校関係者と情報交換をする場があるといいかと思います。秋葉町にあると聞きました。

また、現場で働いている教員の方々の意見をよく聞いてほしい、運営も工夫する余地がある、といった意見がありました。今までも色々な縛りや予算が原因で、できないこともあったと思いますので、今後配置される人員や予算で対応するのであればいいと思いました。

(部会長)

ありがとうございました。基本的には分校設置案で進めたいという考え方ですね。

(委員)

役員会の中で検討部会の内容を取り上げましたが、一向に盛り上がりませんでした、というのが現実です。この御意見いただいた人に、うちの町内会に一度来て話してもらいたいくらいです。これだけ勉強された方もいるということに驚きました。やはり、役員会の中で話しても、若い御夫婦の方からの御意見は、通学区域に関する話です。先日も、離れた地域から矢部町に引っ越して、「この町内に引っ越したら東戸塚小学校に通えるということで大丈夫でしょうか」と心配されている方がいらっしゃいました。

私の個人的な意見としては、早く単独整備案か分校設置案、分離新設案のどれにするのかを決めて、それに沿ってやっていかないと、色々な考え方をもちの方がいらっしゃると思いますので、この検討部会で早く方向性を決めて、それに沿って皆さんと一緒に進めた方がよいと思っています。私は一応、分校設置案で進めていきたいという意見です。

(部会長)

ありがとうございました。分校設置案で進めていきたいということですね。

(委員)

ちょうど地域の運動会のシーズンということで、参加してくださった保護者の方から御意見を伺いました。まず、今回作成いただいた検討部会ニュースで良かった点としては、配置イメージ図が明示されているので具体的なイメージを持ってもらいやすかったことです。あとは、「通学区域が同一で、敷地が同一で、学年別分校です。」という、今回の分校設置案の肝となる部分が書面で明示されているというのが、案としての方向性がしっかり示されており、多くのポジティブな意見をいただきました。現

在の校舎も3棟の中にそれぞれ特別教室があり、学年別で棟や階が分かれているため、学年別の分校となってもそれほど違和感なく児童からも受け入れられるのでは、という意見がありました。

続いて、懸念や希望についての意見を御紹介します。希望としては、学年別分校となっても今までのような学年間交流やオリエンテーリング、全学年での運動会は続けてほしいという意見がありました。その他にも、工事期間中、学校生活環境の面で児童の負担が少なくなるよう検討してほしいといった意見やグラウンド面積が縮小となるのは致し方ないが、グラウンドを広く使えるような対策を検討してほしい、という意見がありました。懸念事項としては、分校となっても先生方が一体運営できるような工夫をしてほしいということや、分校を設置しても児童の密度は変わらないこと、規則化できない運営上の部分等は上手く運営してほしい、という御意見をいただきました。これらを踏まえて、私個人の意見としては、同一敷地・学年別の分校設置案がよいと思います。

(部会長)

ありがとうございました。個人としても、地域を含めても、分校設置案がよいという話ですね。

(委員)

私のところも同一敷地内の分校設置案です。近くに幼稚園のバスが停まる場所がありまして、これから入学する子どもたちの保護者に話を伺う機会がありました。検討部会ニュースを配付していただいておりますが、まだ遠い先の話でピンときていない様子でした。来年入学する子にとってもまだ数年先の話ですし、在校生も含めて現実味がなかなかまだ持ててないという気がしました。その辺りの説明を今後していかないといけないと思いました。具体的な方向性がはっきりすることで、スケジュールも出てきますし、保護者もうちの子が何年生のときにどうなるのか、ということも明確に出てくるのかと思います。

この度、検討部会に2つの素晴らしい御意見をいただきましたが、やはり分校という言葉自体に分割という印象があるのではないかと思います。この検討部会でも、前回ようやく払拭されて、ある程度意見がまとまったと思います。紙面上だと、分校を設置したら別々の学校になってしまい、コミュニケーションが取れないのではないかと、という印象は拭えないのかと思います。校舎の設計やその時の学校長のマネジメントといった学校運営の仕方というのは、今後こうした意見を参考にして、1つの学校として進めていくようにするという努力目標が明確になったかと思います。

(部会長)

ありがとうございました。われわれ、部会委員には東戸塚小学校で想定される分校というものが分かったのですが、それ以外の方にはなかなか伝わらないというお声も実際にはあると思います。

(委員)

私どもも同じです。この場所での分校設置案ということで、皆さま異議なしということ。子ども会のメンバーに話したところ、方向性としては分校設置案が多数で

した。やはり、教員の人数や予算面は重要だということと、この場所が便利で良い環境だということですので、今後人口が増えていくこの地域の解決方法は分校設置案が最も良いというお話でした。

特に、子ども会には教育関係の仕事されている方が多くいまして、子どもを見る目は1人でも多い方がよいという強い意見もいただいています。

(部会長)

ありがとうございました。個人的にも地域においても同一敷地の分校設置案がよいということで了解しました。

(委員)

私の周りには現役の保護者の方が多く、分校自体にピンと来ていない可能性もありますが、特に反対意見をお持ちの方はいませんでした。現役の保護者からは「私たちは東戸塚小学校に通えるのでしょうか」という心配の方が多く、学校の形よりも、まずは通えるか通えないかという意見、とりわけ小さいお子さんの保護者からそうした意見を聞きます。今回、通学区域の変更はありませんということで、皆さん安心されたかと思います。

分校はイメージが湧いていないかもしれませんが、工事が始まることに対しての心配の声は聞きます。プレハブ校舎には、自分の子どもの教室が配置されるのか、それとも特別教室での利用なのか等、そちらの心配の方がよく聞こえてきます。

個人的には、分校設置案に対して賛成です。寄せられた御意見を見ると、心配な面もありますが、それをプラスにもっていけるように検討を進められればと思います。

(部会長)

ありがとうございました。同一敷地での分校設置案で反対意見はないということですね。

(委員)

ほとんどこれまでの意見と同じです。補足的に自分の意見を述べさせていただくと、結局、単独整備案や分校設置案のどちらになるにせよ、大規模な学校でも、生徒のパーソナルスペースが取れて、先生方もたくさんいて、児童と密にコミュニケーションが取れて、予算が潤沢にあって、そして地域の人たちが使える施設もあって、連携も調整も上手くいく、そうしたことが出来ればどちらでもよいということだと思います。ただ、現状の制度に合わせていくと分校設置案の方が、軋轢が少なく実現できる可能性が高いから、その方がよいのではないかという理解でいます。この御意見をくださった方にも、検討部会ではメリット・デメリットで比較しているというよりは、どの案が本質をつけるのかという議論をしているということが伝わればよいなと思いました。

また、校舎整備工事中は児童にとって、どのような教育環境になるのでしょうか。例えば、グラウンドが全く使えなくなると、児童が休み時間に一斉にグラウンドに出て、外遊びをすることができなくなります。そうすると、児童にとつもないストレスが溜まってしまい、学内での問題行動が増えたり、喧嘩になったり、そうしたことが懸念されるという意見がありました。雨では外で遊べないから学校行きたくない

いう子どもの声を聞くこともあり、もっともだと思えます。私も休み時間のドッジボールや外に出ることが楽しくて学校に行っていましたので、校舎整備工事中の状況というのは相当慎重に考えていく必要があると思っています。

どのような学校施設にするのかは、次の話だと思えますが、私たち外部の人間以上に、学校運営をされている先生方の御意見を取り入れていただくことを意識していただけたらよいかと思えます。

(部会長)

ありがとうございました。基本的には同意見であると認識いたしました。

(委員)

なかなか東戸塚小学校の通学区域にお住まいの方とお話しする機会が取れませんでしたので、通学区域外になってしまいますが、栄区寄りの保護者の方々に東戸塚小学校の過大規模校対策の検討状況を情報共有する程度に留まってしまっています。

私の個人的な意見としましては、もともと分校設置案がよいと思っておりました。ただ、保護者の方の御意見を拝見し、子どもの活躍の場がないことや、先生の負担、特に校長先生がお1人ということで負担がかかるという点について、自分の中でも迷うこともあります。しかし、東戸塚小学校の敷地の良さを生かした形での分校設置案というのが、現時点では私はよいと考えています。

(部会長)

地域としてはなかなかコミュニケーションをとる機会がなかったけれども、個人としては分校設置案がよいのではないかと、というお話ですね。分かりました。ありがとうございます。

(委員)

分校設置案を中心に議論が進んでいるというお話をしたところ、PTAの実行委員会の中では異論はありませんでした。私も分校設置案がよいと思えます。ただ、東戸塚小学校側から要望された通り、大きい体育館をつくりたいとか、職員室は1つが嬉しいとか、そういうところは、考えていただければと思います。

1点、PTAから質問がありました。新しい学校ができた場合、昨今、教職員の数が足りてないと言われている状況でも、1校分の教職員が本当に割り当てられるのかという素朴な質問です。その点については、通常の新しい学校ができるというのと同じように教職員が配置されるものなのでしょうか。

(部会長)

教職員がもっと増えるのか、現状のままなのかという質問ですか。

(委員)

新しく分校を設置するということになった場合、教職員がその分割り当てられるというお話があったと思えますが、そもそも教職員がそんなに横浜市内にいらっしゃるのか、ということです。

(部会長)

そこはどうでしょうか。

(事務局)

確認ですが、例えば、分校設置案で決まった時に、横浜市の教職員の数が足りるのか、ということでしょうか。

(委員)

そうです。副校長先生や20～50代の教員、用務員の方など、それほど余剰人員がいるのかという質問だと思います。

(事務局)

今、ニュースや新聞で教員採用試験の倍率が、というお話を御覧になっているかと思います。確かに、新しい教員の確保というのは、ひと昔前よりも難しくなっているという実状はあります。当然、これから東戸塚小学校の子どもたちも増えますし、学級数も増えます。この検討部会の中でも、説明会でも、そのあたりの資料はお示ししていますので、将来の学級数を見込んで、必要な教職員の配置はしっかりと取り組んでいきます。一方で、東戸塚小学校の地域では、これからも子どもが増えていきますが、横浜市全体としての傾向は、子どもの数はかなり減っていく状況です。横浜市全体として、子どもの数が減っていくということは、学級数も横浜市全体としては減っていく傾向にあります。小規模な学校であっても当然、必要な教職員をきちんと配置しますし、児童数が多くなる学校であれば多くなる分、必要な人員を計算して配置するという対応をさせていただきます。

(部会長)

必要な教職員数は適切に配置していただけるということですね。まとめとしては、同じく分校設置案の方がよいのではないかという御意見ですよね。

(委員)

はい。

(委員)

私は児童のことを一番に考えたいと思っています。東戸塚小学校はすでに過大規模校ですので、基本的には他に土地を買って人口密度を減らすべきかと思いますが、敷地面積の広さを生かした3つの対策案で検討しているということかと思っています。教職員も児童も、伝統のあるこの東戸塚小学校を1つのままでやっていきたいという気持ちはあります。分離新設案は、私は少し厳しいと思っていました。

そして、単独整備案か分校設置案のどちらにするかです。私のイメージとしては、2つの校舎で教員をさらに配置して、管理職の分担もうまくやっていきたいと考えています。現在、すでに70人の教職員がおりまして、これが100人程度になった時に、校長1人ではどうなのでしょう。先程、義務教育学校の話がありましたが、そうしたイメージがあるため、私は分校設置案の可能性が あるのかなと感じています。それから前回お話がありましたが、学校配当予算も学校割について、2校分出るというこ

とで、そこから可能性は見つけられるのではないかと考えています。

長くなりましたが、1つの東戸塚小学校というのは維持していきたいと考えています。同じ土地にありますので、分校という名前が引っかかりますが、そこは本当に譲れないところです。この素晴らしい学校を1つの東戸塚小学校として、夢の学校をつくっていききたいなと思っています。

一度、学校と地域の皆さんと、学校・家庭・地域連携事業実行委員会（通称：学家地連）という懇談会の場で話し合いを行い、児童や教職員の意見をまとめています。創立記念式というものがあまして、その中で、児童に今、これまで、そして未来の学校のことについて話をし、どんな学校がいいかということ、1年生から6年生まで学年に応じて話し合いをして、それを今まとめているところです。

（部会長）

はい。ありがとうございました。分校設置案がよいという感じですね。

（委員）

現段階では、そうです。当初はやはり1校の中だと考えておりましたが、教職員や学校予算というものが確約できないのであれば、分校設置案で1つの学校をつくっていった方が現実的ではないかというふうに感じています。

（委員）

東戸塚小学校の児童数が増えるということはどうなるかということもありますが、率直に言うと、そうなったら中学校はどうなるのかということについて、保護者からも意見が出ています。例えば今、校内ハートフルをつくりましょうという話や、令和8年度から全員給食になるという話があります。そのための配膳室をつくりましょうとなった場合に、東戸塚小学校からの卒業生が入ってきて学級数が増えたら教室が不足してしまうかもしれない、という御意見が出てきています。行政の方は縦割りで、全て合わせたら教室数が足りなくなる可能性があるのではないかと少し危惧しています。東戸塚小学校の卒業生の進学先となる中学校についても並行して検討を進めてほしいというのが、中学校の、特に教員側の意見です。

P T Aの中での反対意見はなく、分校設置案かなという話です。一方で、皆さんが先ほど仰っていたように、「分校＝分割」ということになるのでは、と恐れていると思います。東戸塚小学校というまとまりがなくなってしまうのでは、と恐れているところがあるので、分校というこの枠組みはつくったとしても、学校の運営の仕方によって、東戸塚小学校というまとまりは残していくことに努めてもらえればと思います。

最良は、改築して、東戸塚小学校という1つの枠の中で、学校予算も教員も2校分を配付・配置してもらおうことだと思います。しかし、そういう臨機応変な対応が、教育委員会や議会で行ってもらえるのであれば、私たちはここまで苦勞しておりませんので、恐らく困難だと思います。そうした状況では、分校設置案が解決の妥協案としては最もよいのではないかと考えています。可能であれば、分校開校後の校長先生と教員で協議して、分校としての決まりは守りつつも、臨機応変に、ある程度緩やかな形で運営できたらありがたいなと思います。

その他に、校長先生の負担が非常に大きくなってくると思いますので、上手に役割

分担をしていただければと思います。また、先ほどいただいた御意見の中で、プールの問題にも言及されておりました。たしかに、プールが2つできて、もし水を2倍流しっぱなしにしてしまうというようなミスがあり、賠償しなければならないとなったときには、分校にした場合の負担が増すことになると思いますが、教育委員会として支援していただきたいなと思います。

(部会長)

はい。ありがとうございました。本来からいうと単独整備案の方がということですが、現実的な案とすると、同一地域の場所で分校設置案がいいのかなというお話ですね。わかりました。

(委員)

皆さんの意見を聞きながら着眼点を変えて考えておりました、私たちが子どもの頃はバブル期で、戸塚に大手企業が拠点を構えるようになってきていました。東戸塚小学校の周辺は軒並み同じような社宅ができて、子どもがたくさん増えました。今、マンションによっては高齢化してきているところもありますが、新しい大規模なマンションがいくつもでき始めています。今の戸塚の地域特性を考えないといけないのではないかと思います。地政学的にいうと、戸塚に人が集まって来ることはもうわかっています。その中で、子どもたちを守るためにどうしたらいいのかということを見ると、環境を整えてあげる必要があります。教員配置や予算配分の決まりに当てはめると、どうしても分校設置案になるということだと思います。今も子育て中の方もたくさんいらっしゃると思いますが、戸塚はまだまだ人が増えるだろうと思いますので、この東戸塚小学校が持っている校風だとか、規模だとかを守りながら、この地域で経済を回すという考えのもとにやればいいのかと思っています。そうすると、やはり分校設置案ということになるかと思っています。

(部会長)

私も当初は単独整備案の中で無理難題を言いながら費用や人をもらえないかと思っていましたが、色々話を聞いていく中で、なかなか難しいということがわかりました。今回の検討部会をやってみて、分校設置案でやらないと仕方ないかなというふうに思いました。皆さんの意見を全て聞きまして、欠席の委員の方もいますが、ほぼ全員が分校設置案ということでしたが、他に何か御意見ありますでしょうか。

(委員)

資料5の教職員についてですが、単独整備案だと1校分で、分離新設案だと2校分という形になると記載されていますが、分校設置案の記載が少しわかりづらいので、事務局に解説をお願いしたいです。

(部会長)

今から説明してもらおうかと思っておりました。皆さんの意見を踏まえまして、今度は事務局の方から説明をお願いします。

(事務局)

それでは資料5を御覧ください。

まず、通学区域調整で調整できない場合は分離新設を行うというのが教育委員会としての基本的な考え方です。

しかし、東戸塚小学校のケースでは▲がつく場合があります。例えば、通学区域の項目で▲がついていますが、他の地域の学校であれば、通学区域を2つに分けます、という説明で済むところもあるのですが、東戸塚小学校のように非常に学校と地域の結びつきが強いところだと困難が伴い、▲をつけています。

それ以外では、その他の項目で、「2校が隣接するため、常に比較対象として見られ、本来は生じないはずの学校間の競争が生じる懸念がある。」という点で▲をつけています。これらのことは、他の学校では生じにくい東戸塚小学校特有の課題であり、一般的な学校とは異なる部分です。

その他に、単独整備案が「1校で学校管理を行う。教職員は原則1校分の配置。」という記載で△となっています。一方、分校設置案が「1校の学校管理の範囲を分割できる。教職員は1校分の教職員＋分校運営に必要な教職員を配置。」という記載で○となっています。この評価の差の理由は、分校は基本的に1校とみなすため、1校の運営に必要なものは配置しますが、分離新設ではないため、校長が増配置となることはありませんし、教職員の役割によっては本校・分校の両方を担当してもらう方もいます。そういった教職員もごく少数ありますが、実態としては、概ね2校分に近い教職員が配置されるということで、先ほどの質問への回答とさせていただきます。資料5の表の中で唯一△がないのが分校設置案であり、客観的に見ると懸念事項が少ない案だと考えておりますが、部会委員の方々の御意見を最大限尊重するとあらかじめお伝えしておりましたので、あえて事務局としての結論はお示ししていません。

(部会長)

ありがとうございました。

資料5の中で、東戸塚小学校は地域との連携が大変強いことを教育委員会としても重要視していただいて、非常にうれしく思います。

先ほども地域の方がどう考えているのかというお話がありましたが、舞岡中学校の地区懇談会の中で東戸塚小学校の話に通じる部分がありましたので、皆さまの参考になればということで御紹介させていただきます。たいへん多くの方が来て、一生懸命議論していただきました。建物に関する御意見が多かったように思います。今後建物の話も出てくると思いますので、参考にさせていただければと思います。

いただいた御意見にもありましたが、どうしても一般的な分校との違いがなかなか伝わりづらいと思いますので、今後も説明していく必要があると感じています。皆さんの意見を伺い、ほぼ全員が分校設置案がよいという御意見だったと思います。他に意見がなければ、分校設置案で検討部会として提案したいと思いますが、よろしいでしょうか。

<拍手>

それでは、本検討部会としては、分校設置案で決定ということで進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

分校設置案で決定しましたので、事務局より何かありますでしょうか。

(事務局)

熱心に御議論いただき、ありがとうございます。過大規模校対策の方策についての検討部会の意見が分校設置案に決まりましたので、それに付随する検討事項について御説明させていただきます。

検討部会としての意見は、意見書として取りまとめた後、学校規模適正化等検討委員会という横浜市教育委員会の附属機関（審議会）に提出することになります。意見書には、過大規模校対策の方策のほかに、次の2点を決めて記載する必要があります。

まず1点目は本校と分校の学年分けについてです。2点目は分校名についてです。

この後、追加の資料をお配りさせていただき、説明をさせていただきます。いずれも、第2回検討部会で分校設置案の意見が多かったことから、今回の第3回で検討部会としての意見がまとまった場合に備えて、事前に事務局の方で準備していた資料となります。

(追加資料1、追加資料2を配付)

(部会長)

では、お願いいたします。

(事務局)

追加資料1を御覧ください。学年分けの資料です。

東戸塚小学校で想定する分校の学年分けについては、学校経営が専門の学識経験者へのヒアリングや、教育委員会事務局内での意見交換を行った内容を踏まえ、事務局としては、本校に1～3年生、分校に4～6年生が望ましいのではないかと考えています。

ヒアリングをどのように行ったかというところを簡単に御紹介させていただきます。まず、教育委員会事務局内で、教育内容等の主担当である学校教育企画部の主要なメンバーと意見交換を行いました。その次に、学識経験者の方へのヒアリングを行いました。ヒアリングを行った方は、国土舘大学体育学部こどもスポーツ教育学科の教授である北神正行氏と国立教育政策研究所名誉所員との小松郁夫氏の2名です。両名とも対外的に公表する横浜市教育委員会の点検・評価を経験されており、横浜市教育委員会のことを十分に理解していただいている方です。

(追加資料1について説明)

唐突に、学年分けについて検討を始めることも難しいと思いましたので、あらかじめ検討用の資料を御用意しました。ヒアリング等の内容を踏まえ、事務局としては、1～3年生を本校、4～6年生を分校として分けることを提案いたします。

(部会長)

ありがとうございました。御意見はありますでしょうか。

(委員)

まず、個別支援学級についても、1～3年生と4～6年生で分けるという内容でしたが、私は東戸塚小学校に限りましては、できれば個別支援学級は学年で分けず、1つの棟に配置する方がよいと考えています。現在は第2棟の校舎に個別支援学級の教室を配置しており、7学級48人が在籍していますが、ランチルームで全員が集まる機会もあります。個別支援学級の学習は、教室ごとに分かれたり、1か所に集まったりしながら行いますので、棟が分かれてしまうと不都合が生じるのではないかと考えています。また、高学年になっていくと、一般学級との交流が増えてきます。個別支援学級にいないことも増えてくるので、個別支援学級も校舎ごとに分けてしまうと、東戸塚小学校にとってはやりづらいと考えています。

東戸塚小学校では1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生がペア学年になっており、現在は第1棟の2階に1年生、3階に6年生の教室があって、入学当初から6年生が下の階に降りて、1年生の面倒を見てくれます。給食も掃除もそうですし、雨の日は昇降口に降りて、ランドセルを拭いてくれたり、合羽を干してくれたりしています。校舎が分かれても、繋ぎの渡り廊下を設置してもらえれば、1年生と6年生のペア学年を同じ2階にすることも考えられます。現在は、上の階に上級生が配置されていますが、校舎整備後も、例えば6年生は1年生とペア学年だから同じ階であると、説明すれば理解してもらえらると思っています。

(委員)

学識経験者の方の御意見と自分の考えも概ね同じ意見です。しかし、学識経験者の方々も、東戸塚小学校のことを全て把握されているわけではないので、繰り返しのようになりますが、できるだけ教員配置をしてもらい、校舎整備も行った後に、どのように学校運営をしていくかということについては、学校で柔軟に決めていくことが必要かと思っています。

外部からは、学年分けは1～3年生と4～6年生でよいとなりますが、分校開校後に課題が生じるということはあると思います。そうした際に、臨機応変に本校の校舎と分校の校舎を使えるようにしていただけるとありがたいなと思いました。1～3年生は本校の校舎、4～6年生は分校の校舎などと決めてつくってしまうと、何らかの形でどちらかの校舎を使わなくてはいけなくなってしまった場合に、黒板のサイズが小さいとか、高さが低いといったことになるので、汎用性がありません。なので、例えば黒板の位置がずらせるようにするなど、どの学年でも使えるような汎用性があるとよいと思いました。

あとは、学年同士の交流が必要になってくると思います。交流に関して、例えば、本校と分校の交流ができるような広場がほしいといったことを東戸塚小学校の先生方が考えたとした場合、校舎の設計段階でそうした意見をできるだけ反映できるように進めてほしいと思っています。

(部会長)

私も同じように考えていて、1年生が多くて、6年生が少ないというようなことがあった場合に、完全に分けてしまうとアンバランスになったり、教室が足りなくなったりということもあると思います。明確に分けた方がよいのか、臨機応変に変えられ

るようにした方がよいのか、ということについて、皆さんはどう思われますか。

(委員)

1つは制度的な問題があると思います。1、3、5年生と2、4、6年生と分けても、分校という形にできるのかどうか。実際にはその時の校長先生の采配しだいだと思います。児童の人数比率もあると思いますし、すぐく力を入れなければならない学年や特別支援学級を考慮する必要もあると思います。その他に、学年だけでなく、車椅子など障害のある児童もいるはずですので、様々なシミュレーションをした上で、あとはその時の校長先生が運営しやすいような枠を考えていただくのが一番よいのではないかと思います。

(部会長)

事務局に聞きますが、明確に学年を分けられるような話ではないのではないかと私も思いますが、どうでしょうか。分けなければならないのでしょうか。

(事務局)

例えば、1、3、5年生と2、4、6年生で分けるとした場合、それを定めることは可能です。ただ、その学年分けで、学校運営がやりやすいのかということも考えなければならぬので、ヒアリングはどういった学年分けであれば学校運営がしやすいかという趣旨で行っています。

また、ある程度融通を効かせた方がよいのではという御意見はごもっともですし、そうした御意見があることは重々承知ですが、学年分けを教育委員会の規則で定める必要があります。〇～〇年生が本校、〇～〇年生は分校と、規則で定めた上での運営をしていただくことが前提になります。例えば、ペア学年については、同じ階にして行き来をできるようにするとか、そうした工夫は可能です。他都市では分校設置後に学年分けを変えたという事例もあると聞いています。後々、大きな課題が生じることが見込まれ、やむにやまれぬ状況が発生すれば、規則改正をして、その課題を解消していくということもできます。

学年で分ける分校を想定していることは、これまでの検討部会ニュースでもそのように御説明しておりますし、それが前提になっておりますので、その方向で御検討をいただければと思います。なお、先ほど委員が示されていた、年度によって学級数がアンバランスになる懸念というのは、いずれ生じるのであれば、対応は可能です。

(部会長)

私としても、少し煮え切らない思いではあります。その理由は、本校と分校の建物を全く同じ仕様でつくらなければならないのではないかという気がしている点です。そうしないと、1年生の人数が多く、そのままどんどん学年が上がると、結局6年生までは同じ規模になるため、各学年まったく同じ教室数をつくっておかなければならないのかと思います。それが最大公倍数になるのでしょうか。そうすると、大変な話になりますが、そうできるように考えてもらわないとなりません。

実際の運用になったら学校にお任せするところもあるのかと思いますが、現状としてはどうしても分けざるを得ないという話ですので、皆さま、どうでしょうか、他に何か意見はありますか。

(委員)

1 教室あたりの広さや人数は決まっているので、それを踏まえて検討していかなければならないと思います。1～3年生と4～6年生と明確に決めてしまうのはどうなのでしょう。先程も意見があったとおり、臨機応変に運営する方がよいのではないのでしょうか。教室数と学級数のパズルようになってしまうと運営が大変だと思いますので、現場の学校の意見を尊重して進めていく方がよいと思います。

(部会長)

ほかに何か意見があれば。

(委員)

個別支援学級について、東戸塚小学校のやり方をお伺いし、現在は上手くいっていると思います。一方、障害のある児童の人数で個別支援学級の担当教員数が決まってくるので、本校と分校に分けない影響が出て、教職員の人員配置の面で損してしまう可能性があるのではないかと思いました。その懸念を上手く解消してほしいと思っています。

(部会長)

現状として学年分けを決めなければならない制度になっているということです。事務局案のとおり、1～3年生が本校、4～6年生が分校という考え方にまとめたいと思いますが、いかがでしょうか。実態としては、その時の校長先生の裁量で上手く運営してもらうことになると思います。

<賛同>

(部会長)

では、そういうことで進めさせていただきます。

(事務局)

個別支援学級は本校側にまとめて配置ということでしょうか。

(委員)

資料3の検討部会ニュース第2号の2ページの【表1】に「配置イメージ図」がありますが、その真ん中の棟を上手く利用して、対応することも考えられると思います。

(部会長)

今後、校舎整備の話をするときに取り上げたいと思います。そこは当然検討する部分であると考えています。給食室や体育館、プールなど、いくつも検討すべき事項がありますので、建物をどのようにつくるのかというところで検討したいと思います。

(事務局)

個別支援学級について御意見がありましたが、学年分けは規則で定めなければなら

ないと御説明し、1つの案として本校に1～3年生、分校に4～6年生について記載しています。

一方、個別支援学級については、本校側に寄せる、もしくは学年別に、本校に1～3年生、分校に4～6年生など、色々やり方はあると思いますが、これは現時点でまだ決めなくても大丈夫かと思っています。

また、本日配付させていただいた検討部会ニュース第2号のP. 2【表1】の「配置イメージ図」の図にあるような共用部分に何を設けるかということについては、まだ決まっておりません。右側の3ページの表において、前回お示しした資料になりますが、施設の項目において、給食室・体育館については、「校舎ごとに設置もしくは共用も含めて今後検討」と記載させていただいており、学校の運営としてどういう形が一番よいのかということ踏まえて、これから検討していくということになりますので、その辺は今後検討していくと御理解いただければと思います。

(部会長)

先ほどの話になりますと、結局は本校に1～3年生、分校に4～6年生ということで、個別支援学級はまたあらためて考えていきたいと思っています。

では、続きまして、分校の名称、学校の命名の関係について、御意見をいただければと思いますが、まずは事務局より説明をお願いいたします。

(追加資料2について説明)

(事務局)

追加資料2の下の※印のところにも記載がありますが、分校名の正式決定においては、学校規模適正化等検討委員会、教育委員会、市会での決定を経る必要があります。また、アンケートはあくまで参考であり、票数が多いものに必ずしも決まるわけではありません。

説明は以上になりますが、大きくは案1として「東戸塚小学校分校」とするか、案2として、それ以外の新しい名前をつけるか、を決めていただくことになります。そして、案2で進めるという場合には、方法1や方法2といったやり方を想定しています。

(部会長)

今から分校の名称についての話をしますが、アンケートをとったりしていると長く時間がかかることになると思います。それは極力避けたい、次のステップに早く進めるべき、そういう意見もありまして、極力、この場で決めていきたいと思っていますが、それでよろしいでしょうか。

私の個人的な意見としては、「東戸塚小学校分校」でよいのではないかと思います。なぜかという、実際の運用の場面では通称名を使ってもよいのではと思っています。実際に学校の現場で、通称名として、分校舎とか本校舎といった呼び方をするのであれば、それでよいのではないかと思います。皆さんの御意見はどうでしょうか。

	<p>(委員)</p> <p>私も全く同じことを考えています。変に〇〇分校という名前がつくと、分割されるイメージが強くなって、1つの学校という感じではなくなってしまいます。単純に東戸塚小学校分校とした方が、逆に個性が無くなって、1校としてのまとまりも維持できるのではないかと思います。</p> <p>(部会長)</p> <p>ほかに何か御意見はありますか。</p> <p>では、意見が無いようでしたら、「東戸塚小学校分校」という名前でよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;"><賛同></p> <p>(部会長)</p> <p>ありがとうございます。この内容で進めたいと思います。</p> <p>まとめますと、過大規模校対策の方策は「分校設置案」で、学年分けは1～3年生が本校、4～6年生が分校という形にすること、学校名が「東戸塚小学校分校」とすること、この3点が決まりました。</p> <p style="text-align: center;"><拍手></p> <p>(部会長)</p> <p>賛成ということで進めたいと思います。</p> <p style="text-align: center;"><拍手></p> <p>(部会長)</p> <p>以上で、本日の議題を終了いたします。</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特 記 事 項</p>	<p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料 1 委員名簿 ・ 資料 2 座席表 ・ 資料 3 東戸塚小学校過大規模校対策検討部会ニュース第2号 ・ 資料 4 事務局に寄せられた御意見等一覧 ・ 資料 5 東戸塚小学校過大規模校対策：3つの方策検討の視点と事務局の評価 ・ 追加資料 1 横浜市立東戸塚小学校過大規模校対策で想定する分校の学年分けについて ・ 追加資料 2 分校名案の選定方法について <p>【特記事項】</p> <p>なし</p>